

電気設備工事 特記仕様書

1. 工事名称 **志雄町立杉野屋保育所移転改築工事**

2. 工事場所 **石川県 志雄町立杉野屋、3番**

3. 工事期間 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日 (日間)

4. 建物概要

1. 構造	SRC造 RC造 S造 W造
2. 階数	地上1階 地下 階 塔屋 階
3. 面積	建築面積 368.02㎡ (坪), 建築延面積 366.99㎡ (坪)

5. 工事項目

- < > 高圧受変電設備工事
- < 1 > 動力電灯幹線設備工事 (配分電盤, 制御盤含む)
- < 2 > 動力配線設備工事
- < 3 > 電灯・コンセント設備工事
 - (1) 照明器具設備 (非常照明, 誘導灯設備含む)
 - (2) 電灯・コンセント配管配線設備
- < 4 > 弱電設備工事
 - (1) 電話配管設備工事
 - (2) インターホン設備工事
 - (3) 放送設備工事 (非常警報設備含む)
 - (4) テレビ共聴視設備工事
 - (5) 電気時計設備工事
- < 5 > 防災設備工事
 - () 自家発電設備工事
 - () 蓄電池設備工事
 - (1) 自動火災報知設備工事
 - () 防火扉自閉装置設備工事
 - (2) 誘導灯設備工事
 - (3) 非常照明設備工事
 - () 非常警報設備工事
- < > 避雷針設備工事

6. 一般事項

- 本工事は、本設計図、建設大臣官庁官庁管轄部電気設備工事共通仕様書、電力会社規定、電気設備技術基準、建築基準法及同施工令、消防法及同施工令、その他関係法規に基づき係員の指示に従い入念に施工する。
- 図面及仕様書に内容の相違がある場合、明記のない場合、または疑義を生じた場合には全て係員の指示による。
- 施工者は 工事着手前に施工図を作成し 係員の承認を受けること。
- 本工事の施工に必要な官公署への手続きは 請負者において遅滞なく行ない書類の写しを係員に提出する。これに要する費用は請負者の負担とする。
- 現場の納まり、取合せ等の関係で材料の寸法、取付位置または取付工法を多少変更し、あるいは取付員数を幾分増減する等の軽微な変更は係員の指示により行なう。この場合 請負金額は増減しない。
- 協力業者及使用材料の製作所名簿を係員と協議の上 作成し提出する。
- 機器及材料は、仮設用及特に記載されたものの外、日本工業規格に適合するもので、すべて新品とする。また、必要に応じて係員の立合検査を受け 合格したものを使用する。これに要する費用はすべて請負者において負担する。
- 各工事は、予め係員及本仕様書の指定した工程に達した時は 検査を受けること。工事中及竣工の時 係員の指示する各種試験を行なう。これに要する電力、水道、ガス、油等の費用は全て請負者の負担とする。
- 工事写真は 係員の指示に従い 施工状況及特に報告の必要がある箇所 (竣工後見え隠れとなる主要部分等) を撮影し 提出する。

10. 工事完成の上は 全設備の試験及検査を受け 官公署その他の許可証、検査証を提出する。また、竣工図製本3部に竣工写真アルバムを添えて工事完成後30日以内に提出する。

7. 提出書類 工事請負者は本工事に関する書類及図面等を提出し 係員の承認を得ること。概要は下記の通り。詳細は別途指示する書面による。

- 工事着手前に提出するもの。
 - (1) 工事工程表 (2) 協力業者及メーカーリスト (3) 承認図 (4) 施工図
- 工事中に提出するもの。
 - (1) 工事工程写真 (2) 各種試験データ
- 工事竣工後に提出するもの。
 - (1) 工事竣工写真 (2) 竣工図 竣工後1ヶ月以内 (3) 機器取扱保守説明書 (4) 機器保証書

8. 優先順位 本工事に關して重複して相矛盾する場合の優先順位は下記に記載した順とする。

- 質疑応答書
- 特記仕様書
- 設計図
- 共通仕様書

9. 別途工事

1. 建築工事	各種点検口、埋込型照明器具天井明及補強
2. 衛生工事	電極棒及フロートスイッチ取付工事
3. 空調工事	換気扇取付工事
4. その他	電力引込工事負担金 電話機器取付及配線工事

10. 工事仕様

() 高圧受変電設備

受電	引込 3φ 3W 60Hz 6.600V (架空 地中 架空地中線)
変電	変圧器 動力 KVA 電灯 KVA 計 KVA
	電力コンデンサー

(1) 幹線設備

電気方式	動力 3φ 3W 210V 60Hz 電灯 1φ 3W 210V/105V 60Hz
------	--

(2) 動力設備

(3) 電灯・コンセント設備

照明器具	蛍光灯 FL40W以上は高力ラビットスタート、30W以下は高力グロースタートを使用する。FL40W以上の取付は吊ホル等により堅固に取付ける。
------	--

(4) 弱電設備

電話配管設備	配管ボックス化粧プレート取付まで管内に呼び線を入線の事。
インターホン設備	設計図参照。
放送設備	アンプ 設計図参照、スピーカー
テレビ共聴視設備	"
電気時計設備	"

(5) 防災設備

自家発電設備	警戒区域 1 個所 受信盤 P型 2 級 3 窓 副受信盤
蓄電池設備	警戒区域区は アラスチック板、4% I/FIL 書ヒレ 色別形式とする
自動火災報知設備	警戒区域 1 個所 受信盤 P型 2 級 3 窓 副受信盤

防火扉自閉装置設備

誘導灯設備工事

非常照明設備工事

非常警報設備工事

() 避雷針設備 突針部 (突針 本 棟上専帯)、導線 (銅線 鉄骨)

11. 配線工事方式

引込配線	金属管工事	FLキチルコンシット工事
動力配線	金属管工事	VV-Fケーブル工事 (二重天井内)
電灯配線	金属管工事	
コンセント配線	金属管工事	
弱電設備配線	ケーブル工事	
	同軸ケーブル工事	
防災設備配線	金属管工事	
	ケーブル工事	

12. 使用プレート

スイッチ コンセント	新金属
電話、インターホン、TV	新金属

13. 施工 特記事項

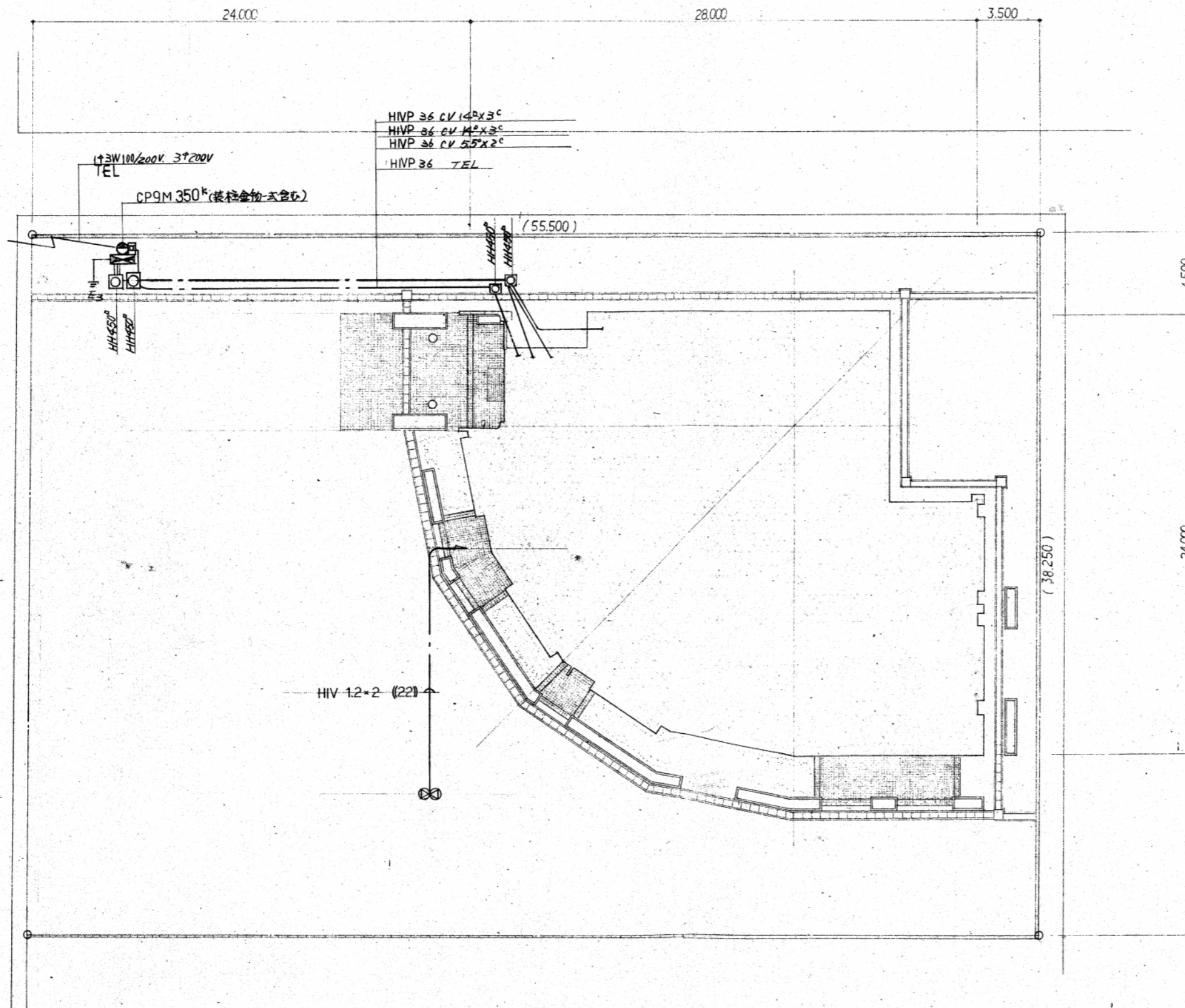
- 接地工事 各工事に必要な接地工事は 図示なくとも施工のこと。
- 照明器具取付 蛍光灯40W以上の取付には インサート(9%)2ヶ所にて取付けるものとする。
- 位置ボックス コンクリート埋込みの天井・床取付位置ボックスは深さ75mmのコンクリートボックスとする。
- 屋根スラフの配線 屋上階の屋根スラフには原則として配管しない。また、貫通する場合は 給水管などと同一場所で立上げ、防水層を任意に貫通しない。
- スイッチ・コンセントの位置 電灯用スイッチの取付高さは中心で床より1300(1150)、コンセントは床より300(150)とし、これらの柱、または扉などの枠から最初の器具の距離は160とする。()内は和室の場合を示す。
- アースポイント 金属管工事の電力回路の管とボックスの間にはボンドを取ること。
- 呼び線 入線しない配管にはビニール被覆の呼び線を入れること。

14. メーカーリスト

電線	住友 古河 昭和
電線管	東芝 松下 日栄
電線管付属品	
キューセフル	大日 8川川
配分電盤	
照明器具	松下 日立 東芝 大光
配線器具	
インターホン	松下 アイホン 東芝
放送設備機器	松下 トーマ ヒタチ
テレビ共聴視機器	松下 ホーキ マスプロ
火災報知設備	ホーキ 能美
防火扉自閉装置	
変圧器 コンデンサー	三菱 東芝

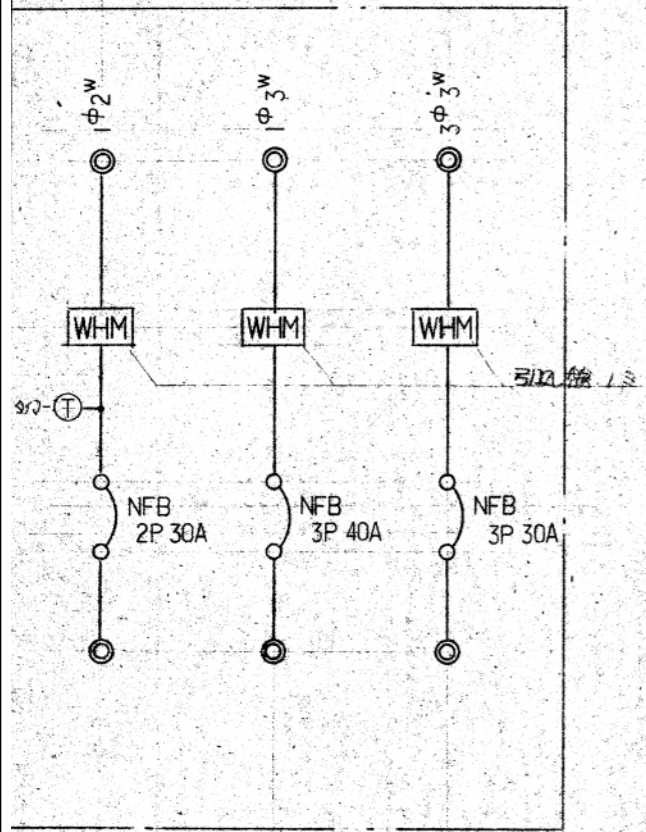
解体工事方針

- ・引込設備（機器・配管）の撤去処分を行う。
- ・埋設範囲（ハンドホール・配管配線）の撤去処分は建築工事に含む。

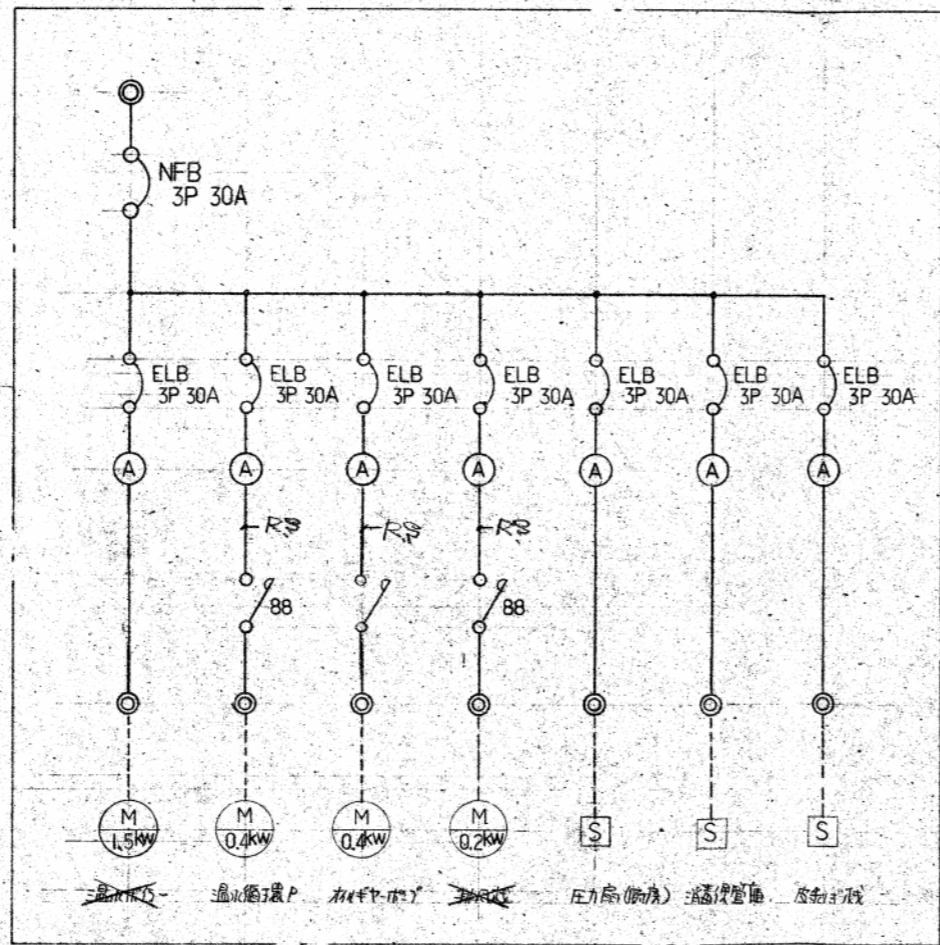


設計年月日	2026.3	工事名	旧北部保育所解体工事	図番	E-02
訂正		図番	25057	編尺	A1=NS A3=NS
		標題	既存 電気配置図		

1LM-1 半理山型

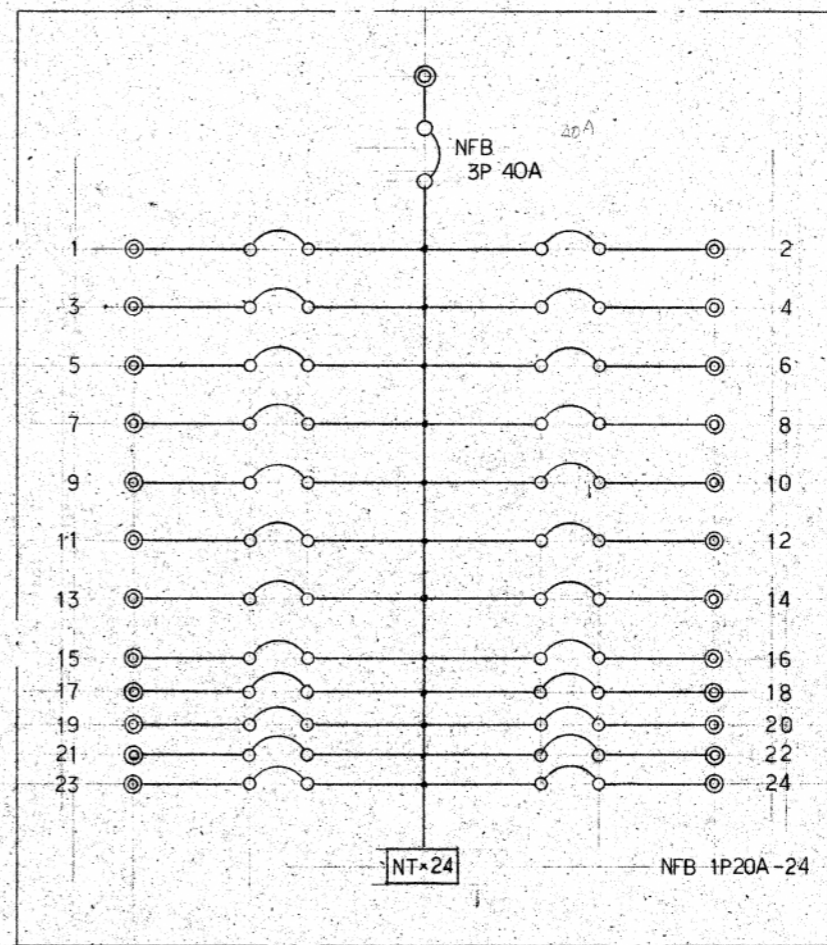


1M-1 半理山型

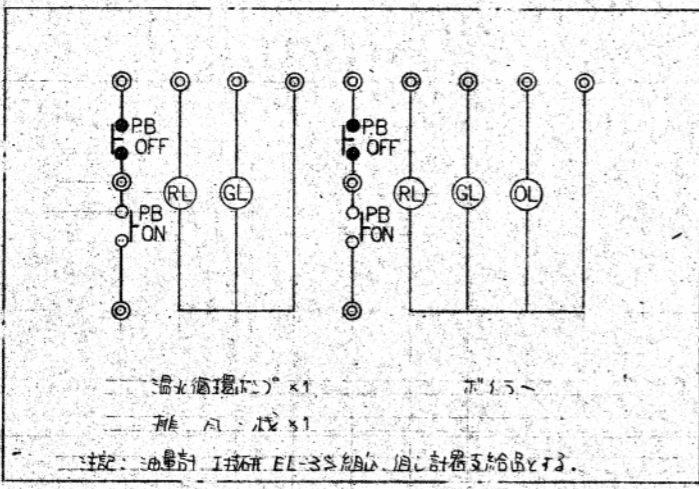


注: 1. 漏電検出P 加付(100%) 2. 圧力高(動作) 3. 漏電検出 4. 圧力高(動作) 5. 漏電検出 6. 圧力高(動作)

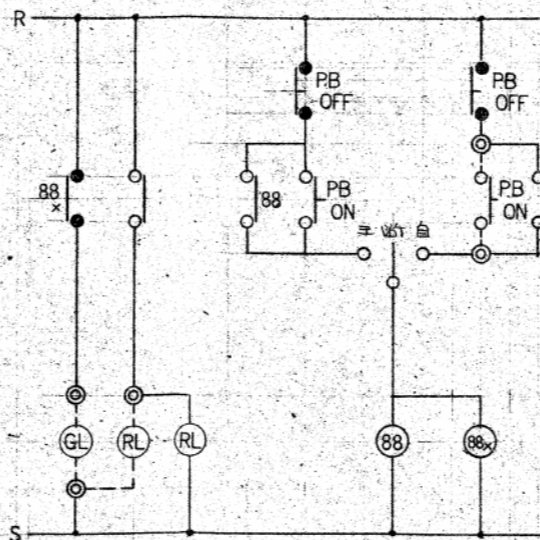
1L-1 半理山型



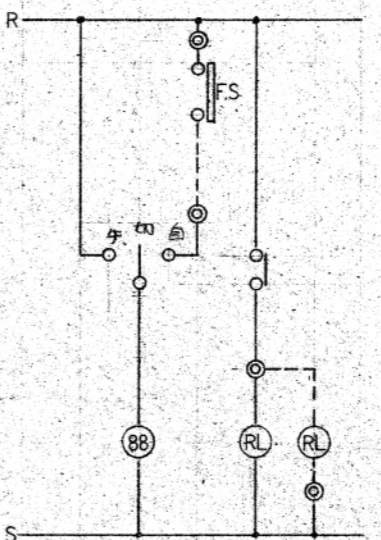
1N-1 半理山型



注: 1. 漏電検出P 加付(100%) 2. 圧力高(動作) 3. 漏電検出 4. 圧力高(動作)

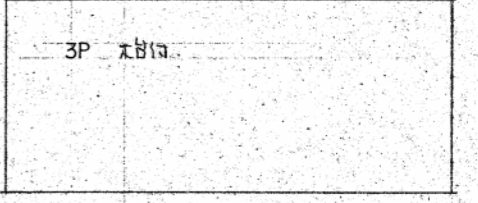


1N-1 半理山型

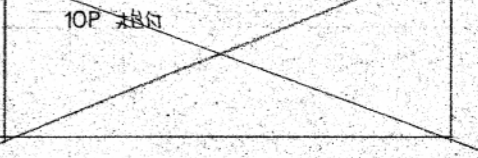


1N-1 半理山型

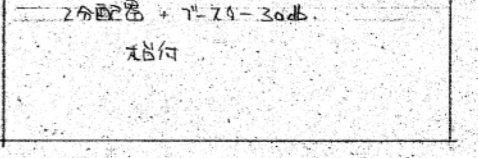
1P-1 半理山型



1P-2 半理山型

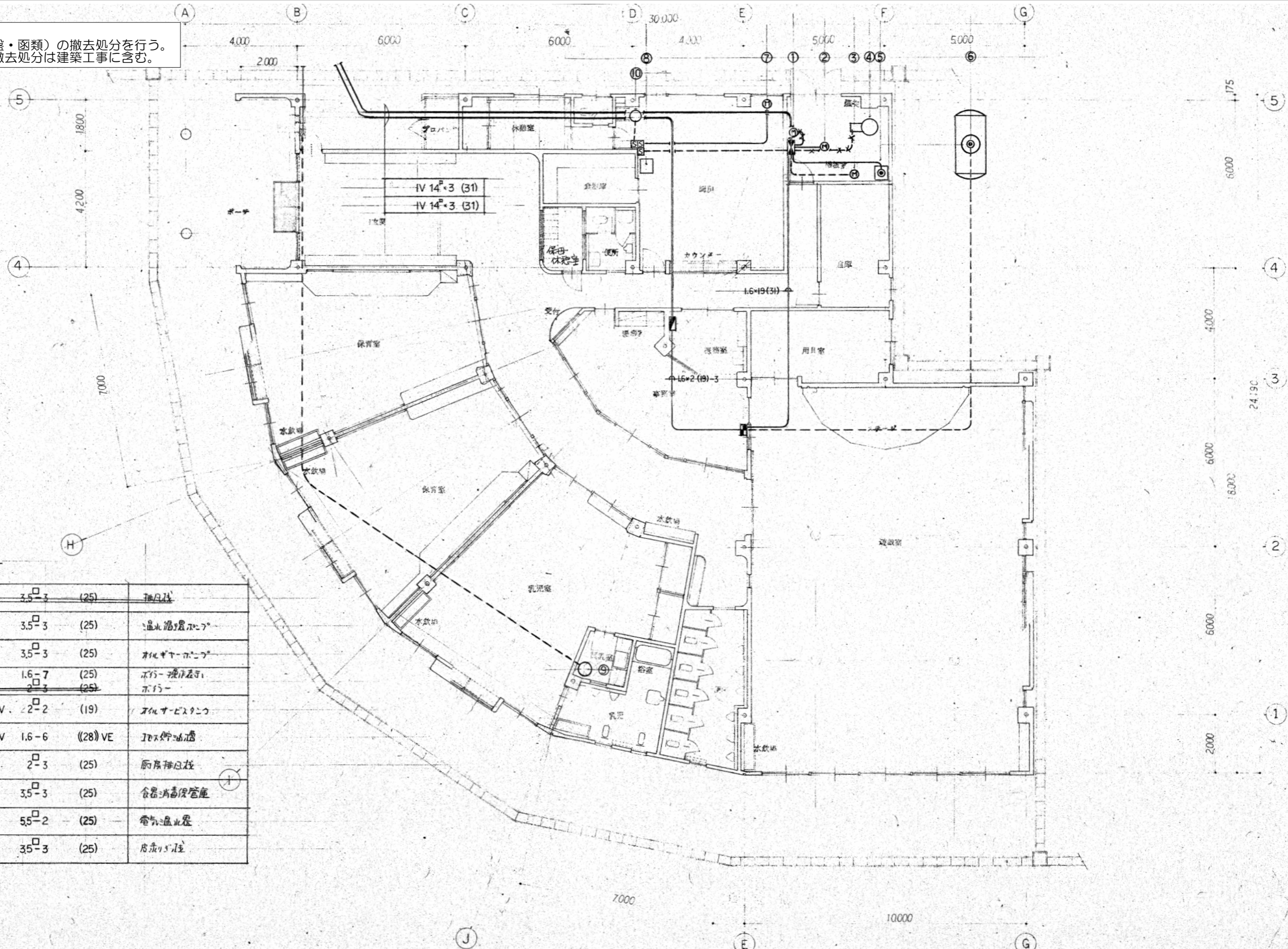


1P-3 半理山型



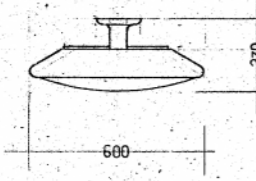
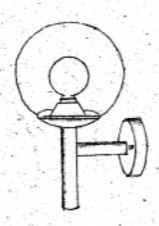
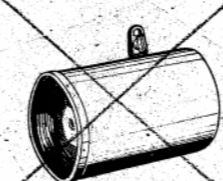

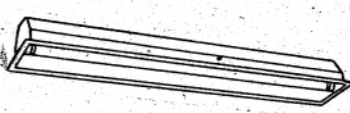



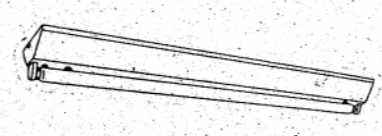
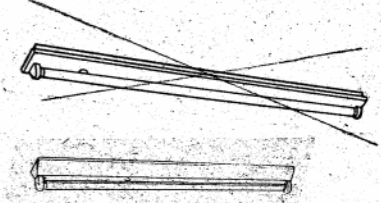

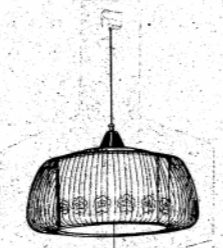

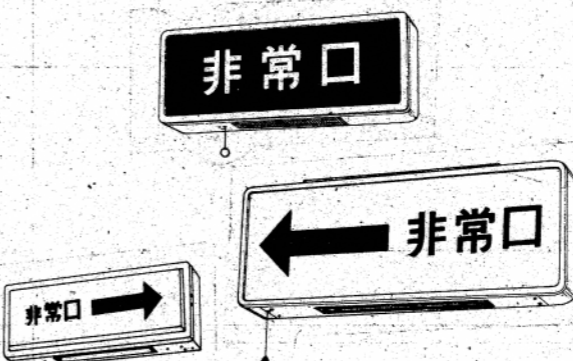

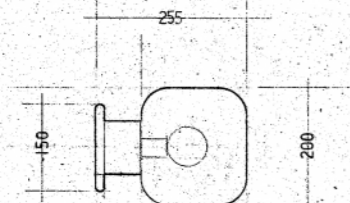
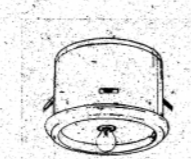
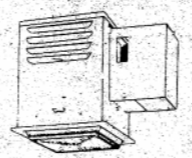

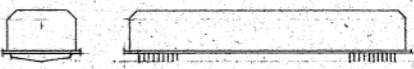
設計年月日	2026.3	工事名	旧北部保育所解体工事	図番	E-03
訂正		図番	25057	標題	既存 配分電盤結線図
		編尺			A1=NS A3=NS

解体工事方針
 ・機器（分電盤・函類）の撤去処分を行う。
 ・配管配線の撤去処分は建築工事に含む。



配管配線表

1	CV	3.5 [□] -3	(25)	種別
2	CV	3.5 [□] -3	(25)	温水循環ポンプ
3	CV	3.5 [□] -3	(25)	ボイラールーム
4	IV	1.6-7	(25)	ボイラールーム
	CV	2 [□] -3	(25)	ボイラールーム
5	CVV	2 [□] -2	(19)	ボイラールーム
6	CVV	1.6-6	((28) VE)	ボイラールーム
7	CV	2 [□] -3	(25)	浴室種別
8	CV	3.5 [□] -3	(25)	食器消毒保管庫
9	CV	5.5 [□] -2	(25)	電気温水器
10	CV	3.5 [□] -3	(25)	ボイラールーム

<p>Ⓐ FCL 40W×30W</p>  <p>金具・ガラス・ステンレス色 防カビ・防湿・防錆</p>	<p>Ⓑ IL 100W×1 WP</p>  <p>金具・本体70×20×25 ガラス・透明 防カビ・防湿</p>	<p>Ⓒ IL 150W×1</p>  <p>ハロゲン球用 本体70×100×110 取付金具付</p>	<p>Ⓓ IL 60W×1</p>  <p>径200φ ガラス・本体70-60×30×110</p>	<p>Ⓔ FL 40W×1</p> 
<p>Ⓕ FL 15W×1</p> 	<p>Ⓖ FL 40W×2</p> 	<p>Ⓗ FL 40W×1 WP</p> 	<p>Ⓙ FL 40W×1 ⑩ FL 20W×1 WP</p> 	<p>Ⓙ FL 40W×1 WP</p> 
<p>Ⓚ FL 40W×2</p>	<p>Ⓛ FCL 30W×1</p>	<p>Ⓜ IL 40W×1</p>	<p>Ⓝ 非常口誘導灯 巾型</p>	<p>Ⓞ FL 20W×1 ステンレス製</p>
<p>Ⓚ FL 20W×2</p> 	<p>Ⓛ FCL 30W×1</p> 	<p>Ⓜ IL 40W×1</p> 		 <p>ステンレス製</p>
<p>Ⓟ IL 100W×1</p>  <p>ガラス・透明 金具・70-40×40×110 防カビ・防湿</p>	<p>Ⓠ IL 20W×1</p>  <p>LED・内付型</p>	<p>Ⓡ IL 100W×1</p>  <p>非常時LED電球40W 電池内付型</p>	<p>Ⓢ FL 20W×1 WP</p>  <p>アルミ樹脂 (乳白色)</p>	<p>Ⓣ FL 40W×2</p>  <p>15-バネ付型 (バネ付金板)</p>